

「市長への手紙」HP掲載データ（平成29年5月分）

見出し	2905-6 県立久慈病院の医療体制の充実について
ご意見	<p>久慈病院ではガン治療もできない、帝王切開もできない。特にお年寄りのガン患者さんは、八戸や盛岡に通ったりしていて大変です。</p> <p>わざわざ他の市に行かなくても良いように、久慈でガン治療、帝王切開をできるようにして下さい。</p>
回答	<p>県立久慈病院は、平成21年に「地域がん診療連携拠点病院」に指定されており、久慈医療圏におけるがん診療の中心的役割を担っております。したがって、通常のがん治療には対応できていると久慈病院から伺っております。</p> <p>一方で、耳鼻咽喉科、呼吸器科の常勤医師が不在であることなどから、がんの種類によっては、専門医の対応が必要になる場合があり、やむなく他の病院への転院を勧めざるを得なくなることもあるということです。</p> <p>なお、久慈病院では平成20年8月に「がん相談支援センター」を開設し、専門の看護師が、がん診療に関する全般的な相談を受けているとのことですので、ご利用いただきたいと思っております。</p> <p>また、帝王切開についてですが、県立久慈病院の産婦人科医師が、平成19年から一人体制となっていること、市内の産科医が平成28年3月でお産の取り扱いを終了したことなどから、久慈病院産婦人科で、いわゆるハイリスク分娩まで対応することは不可能になり、二戸病院などに行かなければならない状況となっております。</p> <p>安心してお産ができる、また、治療が受けられる環境を望まれるお気持ちは十分に理解しておりますが、全国的な医師不足が背景にあることから、他地域から呼び込むことは難しく、また、新たな医師の養成にも長期間を要することから、直ちに県立久慈病院の医師を増員し、必要な診療体制を整えることは、極めて困難であると言わざるを得ません。</p> <p>市といたしましては、岩手県に対し県立久慈病院の医師の増員、偏在の是正等、地域医療確保対策について継続して要望活動を実施しているところであり、また、前年度から、県関係の奨学金養成医師（久</p>

	<p>慈市も奨学資金の一部を拠出) の本格配置が始まったところですので、徐々に医師数は増加してくるものと期待しております。</p> <p>今後におきましても、地域の医療体制の充実が図られるよう関係機関との連携を強化し、医師の確保と支援体制の充実に努めて参ります。</p>
担当課	保健推進課                      電話：0194-61-3315